資　　料
令 和 8 年 1 1 月
政策経営部政策企画課

旧板橋第三小学校跡地施設整備構想・整備計画（素案）　（概要版）

1 はじめに

旧板橋第三小学校は、平成14（2002）年3月末に閉校以降、旧校舎を公文書館といたばし総合ボランティアセンターなどとして暫定利用をしている。平成30（2018）年度に「旧板橋第三小学校跡地活用基本構想」を策定。第1期整備として敷地東側に「子ども家庭総合支援センター」を整備し、開設以降の課題等を見据え、敷地西側を有効活用していく方針を示した。令和6（2024）年に旧板橋第四中学校跡地活用の検討と並行して旧板橋第三小学校の検討を開始し、令和8（2026）年4月に「旧板橋第三小学校跡地施設整備構想・整備計画の策定に向けた中間のまとめ」を公表した。以降、これまでの検討内容を踏まえ、「旧板橋第三小学校跡地施設整備構想・整備計画」の策定に向けて検討を進めている。

2 検討課題

■防災上の課題

周辺地域は、狭あい道路が多く、狭小敷地と木造住宅が密集する市街地

■行政サービス継続にかかる課題

本庁舎周辺公共施設再編に伴う、行政サービスの継続性担保

3 活用方針

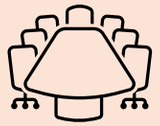
広場・防災機能強化

- ○ 一時集合場所に位置付けられている広場機能継続
- ○ 地域防災機能の維持・継続をするための住民防災倉庫等の整備



コミュニティ空間整備

- ○ 本町集会所を移転を軸に、集会所機能を整備
- ○ 緑を感じながら気軽に集い・休憩ができる広場空間の整備



将来需要への柔軟な対応

- ○ 本庁舎周辺公共施設再編を円滑に進める受け皿
- ○ 要支援児童等への対応強化として子ども家庭総合支援センターを補完するほか、将来需要へ柔軟に対応



4 区民意向の把握

内容	時期	延べ人数
住民説明会 （※旧板四中説明と同時）	令和7年5月･11月、 令和8年5月	208人
施設利用者アンケート	令和7年11月13日 ～12月12日	118人

みんなの思い

- ➢ 地域の防災訓練ができるように、広場は残してもらいたい。
- ➢ 地域の人が気軽に集まれる、集会所の整備をしてもらいたい。
- ➢ 記念室は地域の歴史や卒業生の思い出として残してほしい。
- ➢ 子どもたちが気軽に遊べ、学べるスペースがあるといい。

5 施設整備の方向性

●地域の防災機能を維持するため、災害時に地域の人が使いやすい住民防災倉庫や防災備蓄倉庫を整備します。

●広場空間や集会所は、地域が活用しやすい場となるよう整備します。

●地域に息づく歴史や文化を活かし、これまで人々を迎え、送り出してきた板橋宿のように、新しい出会いや活動が生まれ、地域とのつながりが育つ場を作ります。

●隣接する、子ども家庭総合支援センターや周辺施設との連携を図り、子育て支援の充実と効果的な支援体制を構築し、子ども･若者･子育て世代が住みたくなるまちをめざします。

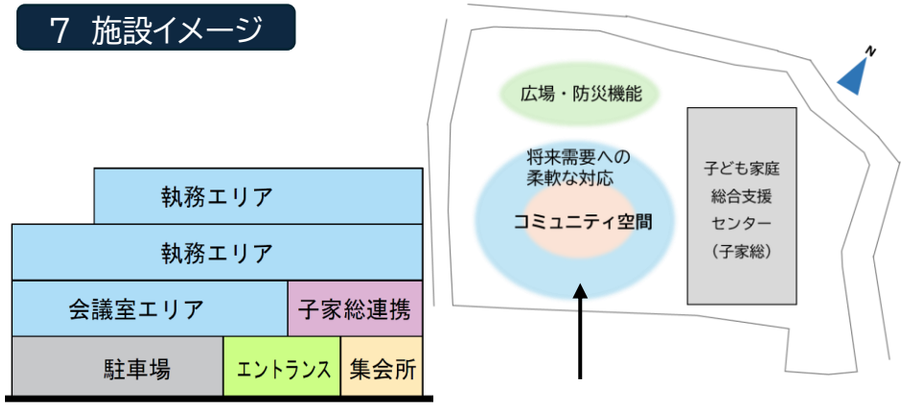
●本庁舎周辺公共施設再編に伴う、事務室の仮移転先として必要となる面積を確保し、継続的な行政サービスの提供を図ります。

6 施設構成

広場機能として、1,000㎡程度を確保しつつ、まちの中の癒しの場となる、空間整備を行います。

機能名	諸室エリア	主な内容
将来需要への柔軟な対応エリア	行政機能	執務室･会議室（本庁舎周辺公共施設再編をはじめとする、行政機能の仮移転先となる機能など）
	子ども家庭総合支援センター連携機能	隣接する子ども家庭総合支援センターの機能拡充となる連携諸室
	共用エリア	WC･廊下･階段･EV･倉庫･設備関係諸室等
集会所機能	集会所	集会室等
全体共用	エントランス	エントランス･WC等
	広場・防災機能	住民防災倉庫 防災備蓄倉庫

7 施設イメージ



東西断面イメージ図

8 整備期間中の移転先（予定）

機能	仮移転先	本移転先
いたばし総合ボランティアセンター	旧板橋保育園	旧板橋第四中学校跡地へ移転
公文書館	旧板橋第九小学校	本庁舎周辺公共施設再編にあわせて移転先を検討
更生保護サポートセンター	検討中	
板橋第三小学校　稲荷台小学校記念室	近隣学校で検討中	新施設内展示スペース検討

9 整備計画（予定）

令和9年度･10年度（2027･2028）設計の検討

令和11年度･12年度（2029･2030）工事

令和13年度～（2031～）新施設開設